

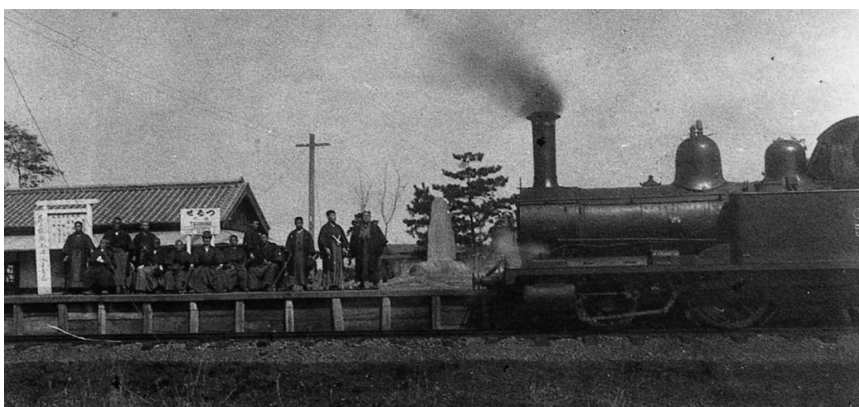
～ 富士見市指定文化財の紹介 ～

鶴瀬駅開設の石碑

指 定	市
種 別	有形文化財
種 類	歴史資料
員 数	2点
指定日	令和6年(2024)2月8日
所在地	鶴瀬駅東口土地区画整理8号緑地



鶴瀬駅開設の石碑
[写真左：鶴瀬駅之碑]
[写真右：鶴瀬停車場記念]
(令和6年撮影)



鶴瀬駅設置有志と石碑
[写真中央：鶴瀬駅之碑]
(大正7年撮影)

【概説】

大正3年に開通した、東上鉄道（現東武東上線）鶴瀬駅誘致に関わった地域の人々によって建てられた「鶴瀬駅之碑（つるせえきのひ）」と「鶴瀬停車場記念（つるせていしゃばきねん）」からなる2基の石碑です。数度の移設を経たのち、長らく鶴瀬駅構内に建てられていましたが、令和5年に、2基ともに鶴瀬駅東口駅前広場脇に移設されました。

「鶴瀬駅之碑」には、鶴瀬駅が地元の協力で開設されたことや、開業日の盛大さを伝える文字が刻まれています。「鶴瀬停車場記念」の碑は、駅開設に伴って東口前の新道整備に出資した有志40名の氏名を刻銘した記念碑です。

市域から東京方面への物流が、新河岸川の舟運から鉄道へと切り替わる時代の中で、鶴瀬駅は市域と他の地域とを繋ぐ窓口として、市の近代化に大きな役割を果たしてきました。駅の誘致から開業に至るまでの経緯と、当時の人々が尽力した様子を、鶴瀬駅開設の石碑は現代に伝えています。